

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	暮らしを守る消防隊活動推進事業			会計	款	項目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	中央消防署			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	清水 彰			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	高齢者世帯を中心とした市内在住者	意図	流山市が住み良い地域になるため、小災害に対する確かな措置を講じる。
事業内容	蜂の巣の駆除、小動物の保護及び捕獲、高齢者世帯の住宅用火災警報器の措置、家具の移動等。			
事業開始から現在までの状況変化	高齢者世帯を中心とした市民に対し、生活に関わる小災害に迅速かつ的確に措置を講じ、福祉の増進に寄与することを目的に、平成4年4月1日に発足した。近年は、新市街地の開発と共に都市化が進み、蜂の巣の駆除要請を中心とした多種多様な要請内容に対応している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	暮らしを守る消防隊出動件数	907	531	415	
②	蜂の巣の駆除件数	810	454	353	件	↓↓↓	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	毎年400件以上の要請に対応し、市民が消防に対する理解と信頼を得ている。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 福祉消防の推進を図る目的で市民生活に支障となる事案に対して迅速に対応してきたが、蜂の巣の駆除要請が多く、本来の目的とはかけ離れてきており、蜂の巣の駆除業者に紹介するなど、アウトソーシングに努め、業務を縮小していきたい。		
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		5,145,204	5,122,442	4,729,110			
事業費(b)(円)		1,781,204	1,758,442	1,365,110			
うち一般財源		1,781,204	1,758,442	1,365,110			
職員給与費(c)(円)		3,364,000	3,364,000	3,364,000			
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		2.00	2.00	2.00			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性 コストの削減	C 対象が広すぎる B 削減の余地がややある
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	蜂の巣の駆除は、業者等を紹介するなど、市民に対し理解を求めながら件数の削減に努める。	③取り組みの課題	都市化によるスズメ蜂等の巣の増加により、駆除件数は増加の傾向である。スズメ蜂等の巣の除去は、作業内容が困難な場所が多く、年に数回隊員に危害を及ぼされる。
②今年度(H26)に実施した取り組み	広報ながれやまに、危険度の高い蜂の巣などについては、専門知識を有する業者を紹介すると掲載した。平成25年度は蜂の巣駆除の要請のうち、専門業者に61件紹介した。	④今後の改善計画	当初目的である高齢者世帯に対する福祉消防を推進し、蜂の巣の駆除は専門の業者に紹介するなどして、隊員の負担軽減に努める。